

# 総人口に対する農家人口は40%を割る

—昭和49年農業基本調査結果から—

## ～農林統計係～

昭和49年2月1日現在で行われました農業基本調査の結果の概要はつぎのとおりある。

本県の農業事業体数は182,599戸である。このうち農家数は182,509戸で前年の184,786戸にくらべて、2,277戸の減少である。第1表にみるように年々減少傾向があり、今後もこの傾向は続くものと思われる。

農家率（農家数÷総世帯数）についてみても、年々減少しており、本県に占める農家世帯の割合は3分の1以下になった。しかし、地域別にみた場合、県西地域は農家率が40.1%と高く、ついで鹿行地域の39.5%、県南地域の36.8%となっている。県北地域については26.4%で農家世帯の割合は最も低い。つぎに市郡別にみてみるとやはり市部の農家率は17.6%と低い。これに対して郡部は49.8%で農家の占める割合は依然として高くなっている。

第1表 農家数の推移

区 分	農 家 数	総世帯数	農家率	減少率
	A	B	A/B	%
昭和40年	201,485	420,785	47.9	—
45	193,115	490,836	39.3	—
46	190,225	513,399	37.1	1.5
47	187,607	529,564	35.4	1.4
48	184,786	540,750	34.2	1.5
49	182,509	555,168	32.9	1.2

つぎに農家を専業兼業種類別にみてみると、専業農家は26,798戸（前年は31,592戸）、農業を主とする第1種兼業農家は68,051戸（同 72,924戸）、兼業を主とする

第2種兼業農家は87,660戸（同 80,270戸）となっている。専業農家と第1種兼業農家はそれぞれ5,000戸近く減少したのに対し、第2種兼業農家は前年にくらべて、7,590戸と大幅に増加し、総農家に占める割合は約2分の1である。

農家の世帯員の中に兼業従事者が1人もいない専業農家は年々減少し総農家の2割にみえない。これに対して兼業従事者が1人以上いる兼業農家は年々増加し8割以上を占める。

このように農業所得の鈍化にくらべて、兼業所得の伸びは著しく増大している。

そこで、兼業農家（155,711戸）が主にどんな職業に従事しているかをみてみると第2表のようになる。

兼業農家全体についてみると「工員・店員・運転手など」、「季節出稼ぎ・人夫・日雇いなど」、「事務・技術・教職員など」の順になっているが、これを第1種兼業と第2種兼業に分けてみると2者の特徴がはっきりと出ている。すなわち、前者では農閑期等を利用した短期的な雇用契約ですむ「季節出稼ぎ…」の従事者が多く、恒常的勤務の「事務・技術…」の従事者が少ない。後者では比較的雇用契約の長い「工員・店員…」の従事者が多くなり、また、あまり農業に関係なく継続的に勤務している「事務・技術…」の従事者が多くなっている。

農家人口は903,903人で前年の920,432人に比べて、16,529人の減少となった。

県内総人口に対する農家人口の割合は39.9%である。また、農家1世帯当たりの平均人員は5.0人で昭和47年

第 2 表

## 家としての主な兼業種別農家数

単位：戸

区 分	総 数	や と わ れ 兼 業					自 営 兼 業			
		合 計	事務・技 術・教職 員など	工員・店 員・運 手など	季節出稼 ぎ・人 夫・ 日雇い など		合 計	林 業	漁 業	その他
合 計	155,711	132,433	30,904	53,776	47,753	23,278	749	1,117	21,412	
1 兼	68,051	62,626	11,092	19,614	31,920	5,425	442	432	4,551	
2 兼	87,660	69,807	19,812	34,162	15,833	17,853	307	685	16,861	
構 成 比 (%)	合 計	100.0	85.1	19.8	34.5	30.7	14.9	0.5	0.7	13.7
	1 兼	100.0	92.0	16.3	28.8	46.9	8.0	0.7	0.6	6.7
	2 兼	100.0	79.6	22.6	39.0	18.3	20.4	0.4	0.8	19.2

以来あまり変化はない。ちなみに、県全体の平均世帯員は4.1人である。(第3表)

男女別にみると男441,772人に対し、女462,131人で女性が多くなっている。

満16歳以上の農家世帯員(706,906人)のふだんの主な状態をみると「自家農業だけに従事した人」が31.0%

第3表 農 家 人 口 の 推 移 単位：人

区 分	総 人 口	農 家 人 口	総人口に 対する 農家人口 の割合 %	農 家 1 世 帯 当 たり の 人 員	農 家 1 世 帯 当 たり の 人 員
和昭40年	2,081,430	1,103,834	53.0	5.4	4.9
45	2,129,910	990,762	46.5	5.1	4.3
46	2,158,625	966,236	44.8	5.1	4.2
47	2,192,523	943,626	43.0	5.0	4.1
48	2,223,366	920,432	41.4	5.0	4.1
49	2,264,514	903,903	39.9	5.0	4.1

で最も多く、ついで「通学・無業者など」の24.0%、「兼業が主」の19.5%、「兼業だけ」の14.6%となり、「農業が主」の10.4%が最も低くなっている。

調査日前1年間に農業に従事した人は456,910人で前年の462,508人に比べて、5,590人減少した。

従事日数別にみると「1~29日」が17.6%、「30~59日」が16.9%、「60~149日」が19.0%、「150日以上」が46.5%となっている。前年に比べて「150日以上」従事者が減少したほかはいずれも増加をみせ、特に、「1~29日」と「30~59日」従事者の伸びが著しい。

総経営耕地面積は190,028ヘクタールで前年の192,818ヘクタールにくらべて2,850ヘクタールの減少となった。

農家1戸当たりの経営耕地面積は1.04ヘクタールで昭和47年以降目立った変化は見られない。(第4表)

第 4 表

## 地 域 別 経 営 耕 地 面 積

単位：ヘクタール

区 分	農 家 数	経 営 耕 地 面 積	農家1戸当たりの経営面積										
			田	畑	樹 園 地	合計							
全 県	182,509	190,028	100.0	102,787	54.1	72,945	38.4	14,296	7.5	1.04	0.56	0.40	0.08
県北地域	67,694	58,834	100.0	28,725	48.8	25,272	43.0	4,837	8.2	0.87	0.43	0.37	0.07
鹿行地域	20,720	23,386	100.0	10,743	46.0	11,680	49.9	963	4.1	1.13	0.52	0.56	0.05
県南地域	50,090	59,536	100.0	35,724	60.0	17,981	30.2	5,831	9.8	1.19	0.71	0.36	0.12
県西地域	44,005	48,272	100.0	27,595	57.2	18,012	37.3	2,665	5.5	1.10	0.63	0.41	0.06